



## NPO法人 アテラーノ旭

アテラーノ旭のできること

旭のまちの高齢化、空洞化、雇用不安に伴う貧困化が進む状況の中、このまちをなんとかして元気にしたいとの思いでつくったのがアテラーノ旭です。誰もが集える「まちのお茶の間」、毎日お弁当を届ける「食のおたすけ」、簡単な家事手伝いをする「やさしさのおたすけ」、「鬼の福分け」などまちを元気にするイベント、生活相談などの活動を行っています。これからは「こども食堂」を通して子どもと高齢者がつながる活動も行っていきます。

NPO法人



## こうちサポートネットワークイン

高知県は不登校率、高校中退率ともに全国平均を大きく上回っています。また、それに伴い引きこもり傾向にある10代、20代の若者の割合も多いのが現状です。私たちウィンは多彩な活動を通し、心の安定と自信の回復を図り、自主性・社会・協調性を養うための活動をしています。そこには、子供たちと通じ合う心のふれあいがあります。このような環境から、子供たちは自分の目標に向かって、次のステップへと大きく羽ばたいていくものだと信じています。

### 認定NPO法人 NPO高知市民会議

様々な分野で活動する市民活動団体が、継続して取り組みを進めていけるような支援を行うとともに、市民・行政・企業・学校・NPOなど、様々な立場の人をつなぐことによって、地域の課題を解決することをめざしています。また、地域を担う次世代の育ちを支援する取組み「とさっ子タウン」の開催、ボランティア・市民活動への参加の呼びかけ等も行っていきます。高知市市民活動サポートセンターの運営にも携わっています。



Kochi



三嶺

## 三嶺の森をまもる みんなの会

貴重な原生的自然を宿す三嶺の森がシカ食害（樹木被害、希少植物やササ被害、そして土砂流出や急傾斜地の崩壊等）で激しく痛むさまを見て、何とかせんといかんと2007年に民間7団体（三嶺を守る会、物部川21世紀の森と水の会、高知大有志グループ等）が結集して、ネットワーク組織として設立し、行政とも協働して、三嶺の森の保全再生に当たることとなりました。設立後、11年余にわたり活動を継続して、実施個所に関しては着実に成果を上げています。



## 高知おもちゃ病院

高知おもちゃ病院

子供たちの壊れたおもちゃを直す（無料）ことによって、物の大切さを教え、また子供たちとの交流をはかることを目的としてH27年設立されました。現在は47名の会員がおもちゃの修理にあたっており、活動場所として、高知市・南国市・安芸市・四万十市・四万十町で月2回の定期開院と、各種イベントなどへの出張開院として、合計で年間100回を超える開催をしております。修理の為に持ち込まれたおもちゃ件数は累計3,000体を超えました。



## こども食堂 まある

『まある』には「輪になって食べる」という意味を込めており、誰もが楽しくおいしい時間を過ごせるような取り組みを行っています。具体的には、低収入のために十分な食事が取れなかったり、親が共働きで孤食になりがちな地域の子どもたちの為に、低価格や無料で食事を提供しています。しかし、そのような家庭の事情に関係なく、子どもたちやその家族が気軽にふらっと集まれる居場所の実現を目指しています。